

## 安全保障理事会議長声明

「大韓民国国際連合常駐代表発安全保障理事会議長宛 2010 年 6 月 4 日付け書簡 (S/2010/281) およびその他の関連書簡」と名付けられた議題に関する安保理の審議に関連して、2010 年 7 月 9 日に開催された安全保障理事会第 6355 回会合において、安全保障理事会議長は、安保理を代表して以下の声明を發した。

安全保障理事会は、大韓民国 (ROK) 国際連合常駐代表発安全保障理事会議長宛 2010 年 6 月 4 日付け書簡 (S/2010/281) および朝鮮民主主義人民共和国 (DPRK) 国際連合常駐代表発安全保障理事会議長宛 2010 年 6 月 8 日付け書簡 (S/2010/294) に留意する。

安全保障理事会は、悲劇的な 46 名が命を落とした ROK の海軍艦艇「天安」の沈没を引き起こした 2010 年 3 月 26 日の攻撃を憂慮する。

安全保障理事会は、そのような事件は同地域およびそれを超えての平和および安全を危険にさらすと認定する。

安全保障理事会は、人命の損失および負傷者の発生を憂慮し、犠牲者およびその家族ならびに ROK の国民および政府に安保理の深い同情と弔慰を表明し、国連憲章および全ての他の国際法の関連条項に従ったこの問題の平和的解決を目的として、この事件に責任を有する者に対し適切かつ平和的な措置が講じられることを求める。

DPRK が「天安」の沈没に責任を有すると結論している、ROK が主導した五か国が参加した軍民合同調査団の調査結果を念頭において、安全保障理事会は、安保理の深刻な懸念を表明する。

安全保障理事会は、同事件と関係がないと述べている DPRK を含むその他の関連当事国の反応に留意する。

それ故、安全保障理事会は「天安」の沈没を引き起こした攻撃を非難する。

安全保障理事会は、ROK に対するまたは同地域における更なる同様の攻撃または敵対行為を防止する重要性を強調する。

安全保障理事会は、ROK によって示された自制を歓迎し、また、朝鮮半島および北東アジア全体における平和および安定を維持することの重要性を強調する。

安全保障理事会は、朝鮮戦争休戦協定を完全に守ることを求め、紛争を避け拡大を防止することを目的として、できるだけ早期に適切なルートで直接対話および交渉を再開するという、平和的手段による

朝鮮半島に関する未解決の問題の解決を奨励する。

安全保障理事会は、全加盟国が国際連合憲章の目的および原則を守る重要性を再確認する。